

# Economic Indicators

発表日: 2024年11月29日(金)

## 日本経済指標: 来週の予測と今週の振り返り

～今週は「都区部 CPI」「鉱工業生産」が公表～

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

### ○来週 (12月2日～12月6日) の主な指標予測

	指標名	当社予測	市場予測	前回結果
12月2日 (月)	8:50 7-9月期法人企業統計			
	売上高(前年比)	—	—	+3.5%
	経常利益(前年比)	—	—	+13.2%
	設備投資(除ソフトウェア)(前年比)	—	—	+9.1%
12月3日 (火)	8:50 11月マネタリーベース			
	(前年比)	—	—	▲0.3%
12月6日 (金)	8:30 10月家計調査(二人以上の世帯)			
	実質消費支出・全世帯(前年比)	▲3.2%	▲2.7%	▲1.1%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	▲3.8%	▲3.9%	▲3.9%
	8:30 10月家計消費状況調査			
	8:30 10月家計消費単身モニター			
	8:30 10月消費動向指数			
	8:30 10月毎月勤労統計			
	名目賃金(前年比)	—	—	+2.5%
	14:00 10月景気動向指数・速報			
	CI先行指数(前月差)	▲0.2pt	▲0.3pt	+2.2pt
CI一致指数(前月差)	+2.4pt	+2.4pt	+1.3pt	

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成

### 10月実質消費支出(二人以上の世帯、全世帯) 当社予想: 前年比▲3.2% 中央値: 同▲2.7%

実質消費支出は前年比▲3.2%と減少が続くと予想する。実質賃金が下げ止まるなど消費を取り巻く環境は改善に向かっているが、物価上昇が続くなか、消費意欲が明確に持ち直すには至っていない。

(シニアエグゼクティブエコノミスト: 新家 義貴)

## ○今週（11月25日～11月29日）の振り返り

	指 標 名	結 果	市場予測	前回結果
11月26日（火）	8:50 10月企業向けサービス価格指数 (前年比)	+2.9%	+2.5%	+2.6%
11月29日（金）	8:30 11月消費者物価指数(都区部) 東京総合(前年比)	+2.6%	+2.2%	+1.8%
	東京コア(前年比)	+2.2%	+2.1%	+1.8%
	8:30 10月労働力調査 完全失業率	2.5%	2.5%	2.4%
	8:30 10月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.24倍	1.24倍	1.24倍
	8:30 9月サービス産業動向調査 売上高(前年比)	—	—	+2.3%
	8:50 10月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比)	+2.6%	—	+0.7%
	8:50 10月鉱工業指数・速報 生産(前月比)	+3.0%	+3.8%	+1.6%
	14:00 10月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比)	▲2.9%	▲2.0%	▲0.6%
	14:00 10月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯、季調値)	—	—	36.2

**11月都区部消費者物価指数（生鮮食品除く総合）**

CPI コアは前年比+2.6%となり、事前予想（+2.1%）を上回った。電気・ガス代補助金の補助額が11月請求分から縮小されたことでエネルギー価格のプラス寄与が拡大した。これに加えて、食料品価格が一段と上振れたことで、前月の+1.8%から上昇率が0.4%pt 拡大した。

- 詳細は、11/29 発表「消費者物価指数(東京都区部・24年11月)～食料品の上昇が続く。全国CPIコアは12月に再び+3%乗せの可能性も～」(<https://www.dlri.co.jp/report/macro/396080.html>)もご参照ください。

**10月鉱工業生産指数**

10月の鉱工業生産は前月比+3.0%と、2か月連続の上昇となった。生産用機械（前月比+21.7%）、輸送用機械（同+3.3%）などが上昇寄与した。生産用機械は、10月時点での生産計画が非常に強かったことからサプライズはないものの、2ケタの大幅な伸びとなった。もっとも、今月は一時的な押し上げに留まる可能性が高く、来月以降は反動で低下に転じることが予想される。

- 詳細は、11/29 発表「鉱工業生産(2024年10月)～先行きは半導体関連に注意～」(<https://www.dlri.co.jp/report/macro/396083.html>)もご参照ください。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

